

第48回 ゴム技術有功賞受賞候補者推薦のお願い

ゴム技術有功賞は、本会創立35周年を記念して設立し、ゴム及びプラスチック工業に関連する生産技術の向上に顕著な功績のあった本会会員の方々を表彰してまいりました。このたび第48回ゴム技術有功賞受賞候補者の推薦を下記により受付けますので、会員各位には広く受賞候補者の推薦をお願いいたします。

推薦締切 平成21年11月30日(推薦用紙は、日本ゴム協会事務局あてご請求ください)

推薦先 ゴム技術有功賞委員会

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル TEL. 03-3401-2957

ゴム技術有功賞受賞者選定規定(抜粋)

1. ゴム技術有功賞(以下、本賞という)は、日本ゴム協会創立35周年を記念して設立し、ゴム及びプラスチック工業に関連する生産技術の向上に顕著な功績のあった本会会員に授与する。
2. 本賞の授与は、毎年2件以内とする。ただし、当該年度に受賞者がない場合は、これを行わない。
3. 本賞の受賞候補者は、次のいずれかに該当する推薦人が、本会会長あて所定の書式により推薦する。その締切は、授与される前年の11月30日までに事務局あて到着したものとする。
 - (i) 本会会員
 - (ii) 本会役員、評議員、研究部会主査及び標準化部会主査
4. 推薦される候補者は、賞を授与される前年の11月30日現在も本会会員でなければならない。
5. 会長は推薦候補者を次条に定めるゴム有功賞委員会に審議を委嘱し、同委員会は推薦候補者の中から受賞候補者を選定する。
6. 本委員会は、委員長1名を含む委員15名以上20名以内で、毎年6月までに構成する。
7. 委員長は、理事、もしくは理事経験者の中より会長が委嘱する。
8. 委員は、委員長が推薦し、理事会の承認を得て会長が委嘱する。
9. 被推薦者は、委員及び臨時委員になることができない。
10. 本委員会は、内規第5条第2項に定める残った推薦候補者の推薦理由書を全委員に配布し、その中から受賞の価値あると認めた受賞候補者2件以内を委員長を除く全委員の無記名投票によって選定する。この場合、得票数同数のときは委員長が決定する。
11. 委員長は、選定された受賞候補者を選定理由書を付けて会長に報告する。
12. 会長は、推薦された受賞候補者を理事会に諮り受賞者を決定する。

13. 本賞受賞者には、通常総会において受賞者に表彰状及び賞金を授与する。委員長は、通常総会において選考経過を公表し、日本ゴム協会誌に発表する。

「附 則」

本賞の賞金は、精工化学株式会社から寄付の基金をもってあてる。

2002. 4. 19 全面改訂

推薦の参考資料

過去10年間のゴム技術有功賞受賞者

第38回	妻 鹿 菊 夫氏	第43回	吉 本 敏 雄氏
第39回	前 田 守 一氏	第44回	吉 光 章 容氏
〃	山 本 隆 造氏	第45回	濱 田 裕 裕氏
第40回	白 木 義 一氏	〃	大 草 康 弘氏
〃	水 本 清 文氏	第46回	井 上 一 雄氏
第41回	川 崎 仁 士氏	〃	平 川 弘 弘氏
第42回	高 野 良 孝氏	第47回	影 山 邦 夫氏
〃	西 沢 仁 氏	〃	坂 根 一 晴氏